

現場を知らない会社は社員を熱中症にさせる気か?!

最初から冷水機撤去ありきの姿勢はおかしい!!

大阪交番車両所は、7月20日と7月26日にかけて現場詰所の冷水機を撤去しました。

会社は、冷水機撤去の理由について「詰所の電気の容量が足りないため」「冷蔵庫を配置したから代わりに冷水機を撤去する」と色々言っていました。管理者の統一した言い訳は「衛生上の問題」ということでした。しかし、衛生上の問題というわりには、安全衛生委員会で問題になっていません。6月20日の安全衛生委員会報告の会社掲示を見ても明らかで議題にもあがりません。当然、現場では衛生上の問題も発生していません。仮に衛生上の問題というなら、こまめに冷水機の清掃を行えば済むことです。会社は、最初に冷水機の撤去と冷蔵庫の配置をセットで決めてしまったから、そのためにどうしようかと考えているだけです。

会社は、現場の状況をわかっているのか!!

現場の詰所では、今まで通り麦茶を冷やすために、冷蔵庫にヤカンを直接入れて冷やしたり、冷水ポットに何回も麦茶を詰め替えて冷やしています。しかし、何人もの人が麦茶を飲むために冷蔵庫を開け閉めするので、十分に冷えないのが現実です。また、当日の朝、麦茶をつくっていますが当然午前中の分は間に合いません。冷水機でつくっていた冷たい麦茶と同じ量の麦茶は冷蔵庫ではつくれません。管理者に「せめて今年の夏の間は置いて欲しい」とお願いしても返事はありません。会社が決めたことだから何がなんでも従えというのは問題があります。

会社は、去年「熱中飴」、今年「塩熱サプリメント」を配布して熱中症予防を呼びかけていますが、肝心の時期に大切な冷水器を撤去することは熱中症予防と逆行しています。

皆さん! 体調不良、熱中症になる前に、もっと声を出していきましょう!!